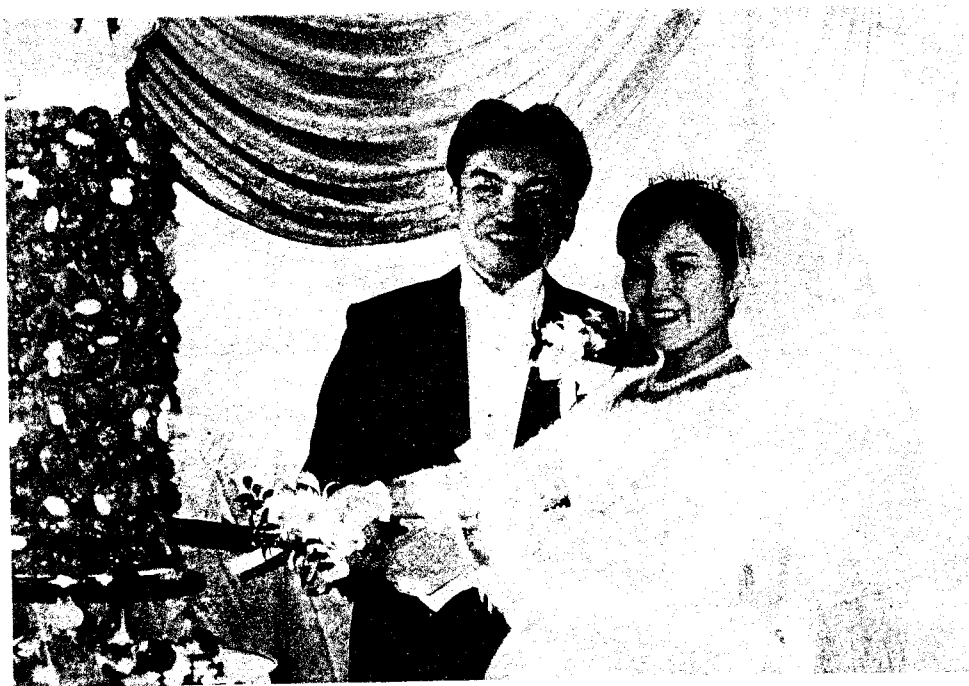


1971年 8月7日 第三種郵便物認可（毎月6回 1の日・6の日発行）
1998年12月16日発行 SSKA増刊・通巻3167号

SSKA

ああるぴい

神奈川支部会報第9号



私たち自身で
治療法の確立と
生活の質の向上を目指す

J R P S 神奈川支部

神奈川支部支援会員（順不同）

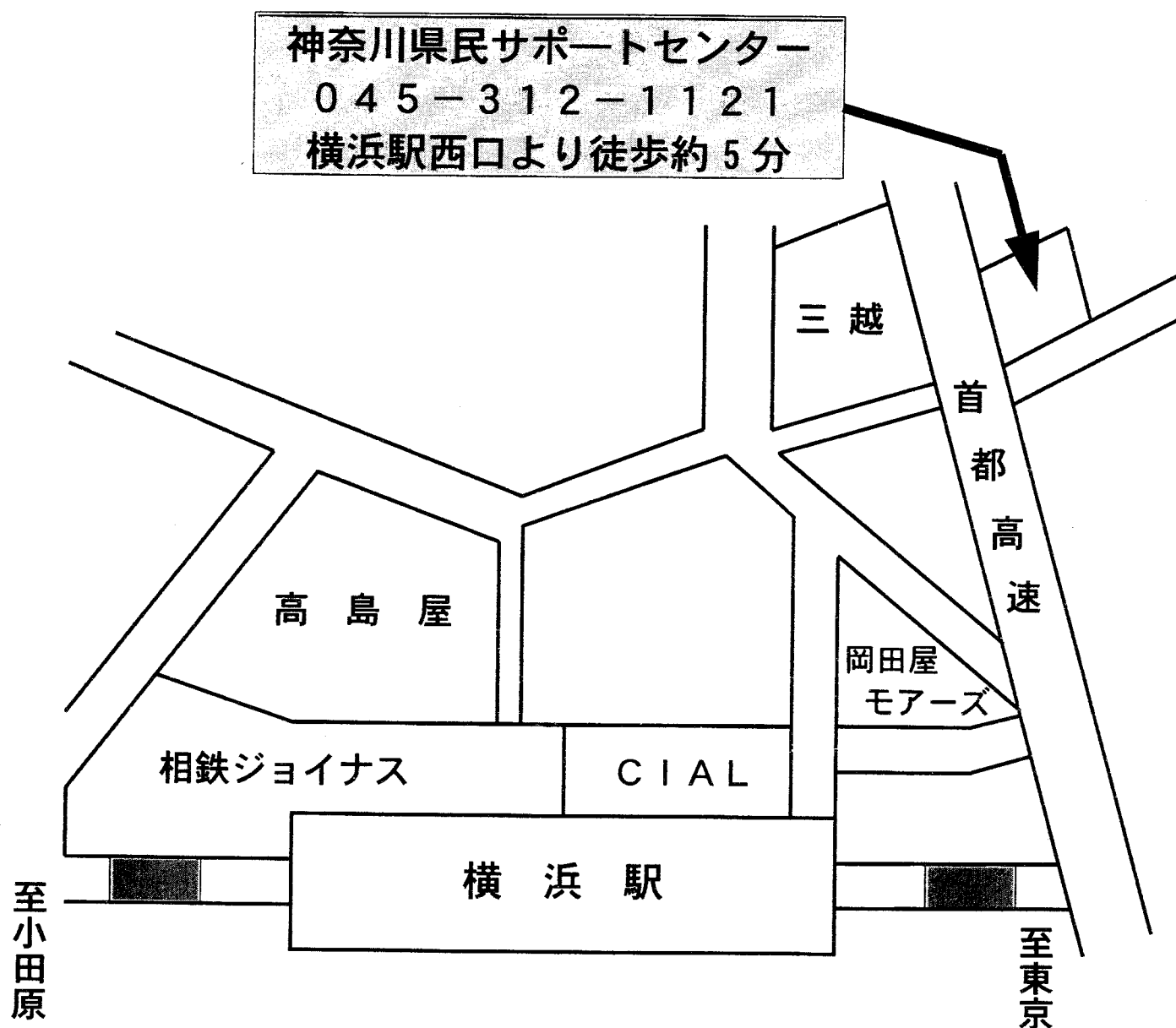
- ・（株）東栄エンジニアリング
- ・（株）ウイルマン
- ・（有）結伸工業
- ・ 英弘精機（株）
- ・ フォトプレシジョン（株）
- ・（株）ナカダ技研
- ・ 高木 緑様
- ・ 木村邦雄様
- ・ 細川和明様
- ・ 豊嶋識明様

☆ご支援に心より感謝いたします☆

神奈川県民サポートセンター

045-312-1121

横浜駅西口より徒歩約5分



目 次

— 世界大会は誰のもの? —	2
— J R P S 神奈川の活動 —	2
●神奈川支部の活動	2
●活動報告	3
《文化祭に参加》◎かな祭	3
◎聖灯祭	4
◎ガイドヘルパー要請講座に 本支部より講師派遣	5
●活動予定	6
《合宿交流会のお知らせ》	6
《ライトホーム土曜相談・見学のご案内》	7
— 情報コーナー —	7
●2002年世界大会に向けて—2	7
●連載 よもやま情報(5)	9
●障害者の人権110番	13
●開発が進む音声誘導システム	14
●視覚障害者の傷害保険	15
— 投稿 —	16
●理療科(盲学校)奮戦記(3)	16
●獅子座流星群と星の世界	16
●ゆめ国体応援記	18
●ウッチャンの思いっきり体験記	20
● ★ ★ ★ ご結婚おめでとう ★ ★ ★	21

—世界大会は誰のもの？—

中 村 善 暁

2002年IRPA世界大会の日本開催が決定して半年が過ぎました。他人事にしか感じていないのは私だけなののでしょうか？ 皆さんはどうですか？私は色変と診断されて10年になります。JRPSに入会したきっかけは、会に入れば病気に対する情報が入手できるだろう、という思いからです。会に入って色々な人と会い、活動に参加しているうちに治療法の開発の為に、患者の自分も何かしなければと思うようになりました。それは、色変が遺伝性の病気だからです。子供に、孫に病気がでたらどうしよう。自分の時代で病気と戦うのは終わりにしなければ！もし孫に（何年先にできるか解りませんが）病気がでたら、「眼科に行けば大丈夫だよ」と言って頬擦りしてやりたい！

なのに、世界中の第一線の研究者が日頃の研究成果を発表し、検討・討議する世界大会、世界中の患者の代表が集まる世界大会が自分の為のものと思えないのだろうか？考えてみれば、JRPSは国際組織の中の一員であるはずなのに、IRPAの本部はどんな所？他の国はどんな活動をしているの？世界大会は過去どのような形で行われているの？加盟国は？それぞれどのくらいの会員？知らないことばかりです。ニュースレターで少しだけ紹介されるが、私の心に響いていないようです。この号で、各国のEmail、Webが紹介されるはずです。語学の得意な方をお願いします。世界の様子を「ああるぴい」で紹介してください。

（IRPAのメンバーのデータは東京の釜本さんがイギリスの協会から入手したものです）世界大会を開催した国の状況、各国の活動状況等など、アクセスして教えて下さい。世界大会は私が、あなたが開催・運営するのだ！ という気持ちになる為に！

—JRPS神奈川の活動—

●神奈川支部の活動

神奈川支部は設立して3年を経過し、2百数十名の会員と共に活動しています。毎月のミニ集会、年3回の中途視覚障害者の為の得々講座、年4回の会報の発行（400部発行・通算9号）、年1回の合宿交流会、保健所での講演会への講師派遣、なんでも便利帳（視覚障害者の為の制度、施設等の小雑誌）の発行、又、今年から学園祭での催しも行っています。これから地域活動を始められる地域の方に少しでも参考にしていただければと思います。時間が有りましたら気軽に参加して下さい。他地域の方の参加をお待ちいたしております。

●活動報告

- 9月 3日 患者交流会に参加（栄保健所）
9月 5日 ミニ集会（サポートセンター）
9月10日 医療講演会・相談会に講師派遣（中保健所）
9月17日 医療講演会・相談会に講師派遣（相模原保健福祉事務所）
9月18日 ガイドヘルパー研修に講師派遣（県社会福祉協議会）
9月26日 ミニ集会（サポートセンター）
全国支部代表者会議（東京）
9月27日 国際RPデー（東京）
10月 1日 医療講演会・相談会に講師派遣（三崎保健福祉事務所）
10月 4日 第四回中途視覚障害者の為の得々講座開催
10月21日 医療講演会・相談会に講師派遣（津久井保健福祉事務所）
10月24日 ミニ集会（サポートセンター）
11月 7日 障害者スポーツ大会（ゆめ国体）の応援
11月11日 拡大読書機の開発調査協力（障害者職業総合センター）
11月13日 シンポジウムに講師派遣（茅ヶ崎看護福祉専門学校）
11月26日 医療講演会に講師派遣（神奈川保健所）
11月28日 講習会開催（保土ヶ谷高等看護学校）
11月30日 生活訓練相談会に講師派遣（神奈川保健所）

※保健所等の講演会では患者の立場でJ R P Sの紹介、日常生活での留意点等の話をしています。医療・生活訓練については、専門の医師、訓練士の先生が詳しく講演された後、相談会の開催を要請しています。

《文化祭に参加》

◎かな祭（茅ヶ崎看護福祉専門学校）

日時：11月13日（金）

内容：・視覚障害者の体験コーナー

（アイマスクをかけてブラインド体験）

- ・ビデオ観賞（視覚障害者の生活、娯楽、施設、訓練、職業等）
- ・シンポジウム

「視覚障害者への援助について考える」

基調講演：茅ヶ崎中央病院眼科・重藤真理子

視覚障害に至る病気とその医療

リハビリ及びロービジョンクリニック

上記における期待される看護サイド

学生発表：視覚障害者施設の内容と実態

病院での視覚障害者に対する日常生活援助

シンポジスト：

- ・茅ヶ崎中央病院看護婦長・露木道子
「視覚障害を伴う患者への看護のアプローチ」
- ・日本網膜色素変性症協会・中村善暁
「視覚障害者の想い」
- ・誘導グループ 草笛 ・茂木るり子
「ボランティアの心構え」
- ・参議院議員・千葉景子
「視覚障害者を取り巻く課題と法整備」

◎聖灯祭（保土ヶ谷高等看護学校）

日時：11月28日（土）

内容：

・講演

「入院生活での危険」・・・馬場さん

「透析通院を通じて想う事」・・・越路さん

視覚障害者が病院で接する看護婦さんにして欲しい誘導、
援助の仕方。して欲しくない事等具体的なお話。

「視覚障害者の想い」・・・内田さん

障害者と特別な感情で接するのではなく自然なかたちで・・・
皆さんは幸いに障害を持っていない、その幸せのほんの少
しを障害者に向けてくれたら・・・

・誘導体験、視覚障害者体験

視覚障害者を誘導して廊下、階段を歩く体験。

アイマスクを着用して、誘導される、誘導する体験。

（感想は、非常に恐かった！？）

・視覚障害者と共に

「クイックマッサージ」

平塚盲学校の渡辺さん、飯島さんの協力で学生さん
にマッサージサービス

「点字の体験」

馬場さんの先生で、点字の書き方、読み方教室

「誘導と視覚障害者体験」

坂上・森田・内田さんが学生さんと誘導体験

「視覚障害者の遊び」

佐久間・澄越さんはじめ、障害者と学生さん（アイマスク
をかけて）が、オセロや陣取りゲームを楽しむ。

※当日学生さんからの募金（マッサージのお礼？）等6, 872円
がありました。世界大会募金として有効に利用させて頂きます。

◎ガイドヘルパー要請講座に本支部より講師派遣

視覚障害者や全身性障害者などの外出を援助するためのガイドヘルパーの養成をするために、県社会福祉協議会で講座を開いています。そのカリキュラムの一つとして「・実際に視覚障害者に関する制度はどうなっているのだろう、・実際の視覚障害者の生活上の不便はどこにあるのだろう、・視覚障害者を実際に誘導してみよう」などの目的の日が設けられています。その講師として、いつも本支部がお世話になっている横浜市立盲学校の神崎先生が担当なさり、「3人ほど神奈川支部から派遣してもらえないか」という話がありまして、本支部より内田・坂上・小泉の3名が参加してきました。

午前中は「・自己紹介を兼ねて視覚障害者がどのような日常生活を送っているか」について参加者ひとりひとりが話をし、「・視覚障害者の福祉制度はどのようなものがあるか、それは利用しやすい制度なのか」ということを本支部製作の「なんでも便利帳」を基に、実際の体験から、あるいは視覚障害者の仲間から聞いたことなどを話しました。午後からは実際に街に出て受講者とともに歩き「・どのようなことに気をつけてほしいか、・どのような周辺環境の情報がほしいか、・どのようなことをしてほしいか」などを実践的に身につけていただくための時間を持ち、その後にそれに基づく受講者からの質問を受け、そのほか視覚障害者に聞いておきたいことなど様々な質問に答えました。

ひとくちで視覚障害者といっても様々な人がいて、ひとくくりにはできないということが受講者の皆様にはわかっていただけたようです。そして日常的に視覚障害者がどのような情報が得たいと考えているかなど基本的なことを学んでいただけた充実した一日になったようです。

今後とも本支部では社会啓発活動にも積極的に参加していきたいと思いますので、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

●活動予定

12月 5日（土） ミニ集会（サポートセンター）

神奈川会報第九号の発行

12月13日（日） 合宿交流会の下見

12月26日（土） ミニ集会兼忘年会（サポートセンター・711）

1998年

1月 9日(土) ミニ集会兼新年会(サポートセンター・711)

2月 6日(土)～7日(日) 合宿交流会・・・下記掲載

3月 6日(土) ミニ集会(サポートセンター)

3月12日(金) 展示会準備(横浜ラポール)

3月13日(土) 視覚障害総合機器展示会(横浜ラポール)

※ミニ集会は午後1時～4時です。

《合宿交流会のお知らせ》

静岡の会員、神奈川支部の皆さん、こんにちは！

今年も慌ただしく一年が過ぎようとしています。日頃の疲れを吹き飛ばす企画を紹介します。静岡・神奈川の色変患者が修善寺温泉に集い、日頃のあかを落とそうというわけです。色変の知識を深め、また、患者相互の親睦を深め、静岡と神奈川の交流が更に深まればと考えています。

日時：平成11年2月6日(土)～7日(日)

場所：静岡県修善寺温泉・北狩野荘(静岡県障害者保養所)

静岡県田方郡修善寺町牧之郷114

TEL：0558-72-4751

内容：医療講演会・合宿交流会・懇親会・名所見学

定員：宿泊 上限58名(静岡・神奈川合わせて)

費用：静岡(宿泊希望者・7日の昼食含む)10,000円

神奈川 12,000円(6日、7日の昼食代含む)

申込：大窪 融 〒240-0016

横浜市保土ヶ谷区初音ヶ丘48-31

電話・FAX：045-341-7721

行程：2月6日(土)

9:00 横浜駅西口天理ビル前出発

10:00 本厚木駅南口出発

14:00 修善寺・北狩野荘到着

15:00 医療講演会(予定)

18:00 夕食・懇親会

2月7日(日)

8:00 朝食

9:30 出発

名所見学

12:00 昼食・懇親会

13:00 出発

16:00 本厚木駅南口到着

17:00 横浜駅西口解散

※静岡の人は現地に2時迄に集合。

※神奈川の人は出発の20分前に集合。

申込時に希望乗車場所を申し出て下さい。

《ライトホーム土曜相談・見学のご案内》

七沢ライトホームが視覚障害でご不自由になられた皆様に入所・通所での生活訓練を提供して、社会復帰のお手伝いをさせていただいてから25年になり、退所者も500名を超えました。少しでも多くの方にライトホームの機能をお知らせし、今まで培ってきた専門スタッフの力を役立てていただくために、お仕事やご家族の事情で平日の来所が難しい方を対象に月に1回土曜相談・見学を次の日程で実施しますのでお知らせします。ロービジョンの方の補助具等に関する相談、歩行や日常生活に関する相談など、予約により個別に対応しますので、お気軽にお申し込みください。

日程：12月12日、1月23日、2月6日の土曜日

申込：七沢ライトホーム（小川）

電話0462-49-2403

（受付時間：平日9時～17時30分）

申込方法：毎回2週間前を締切りにする完全予約制です。

随時電話で受付、相談内容、ご希望等により、
日時を調整させていただきます。

（七沢ライトホームからの寄稿）

— 情報コーナー —

●2002年世界大会に向けて—2

2002年にIRPA世界大会が日本で開催されます。いえ、私達が開催するのです。会員誰もがまだ人事にしか感じていないと思います。そういう私も世界大会がどのような催しなのか？理解しきれていません。何故・・・IRPAの事を知らない、世界の加盟国の活動も知らない、海の向こうの事を何も知らない、まるで鎖国時代と同じだから・・・？世界をもっと身近に感じる為に、IRPAの主要加盟国の電話、E-mail、ホームページアドレスを紹介します。（情報は東京の釜本さんがイギリスの協会に問合せして送って下さいました）
外語の出来る方、各国の協会とアクセスしてみてください。

国名	HPアドレス等
I R P A	TEL:++41 1 291 1872 FAX:++41 1 291 1850 E-mail:cfasser@e-link.ch Web:http://www.irpa.org/
A u s t r a l i a (オーストラリア)	TEL:++61 2 625 821 50 FAX:++61 2 625 894 02 E-mail:ashmore@ozemail.com.au
B r a z i l (ブラジル)	Email:jlbraga@unisys.com.br
C a n a d a (カナダ)	TEL:++1 416 360 4200 FAX:++1 416 360 0060
D a n e m a r k (デンマーク)	TEL:++45 31 19 88 44 FAX:++45 38 33 11 37 Email:dk-blind@inet.uni-c.dk
F r a n c e (フランス)	TEL:++33 561 30 20 50 FAX:++33 561 78 91 00 Email:retina.france@wanadoo.fr Web:http://oo.jet7.fr/
G e r m a n y (ドイツ)	TEL:++49 6032 33550 FAX:++49 6032 32172 Email:100305.132@compuserve.com Web:http://www.gsi.de/~schuell/drpv.html/
H o n g K o n g (香港)	TEL:++852 28 27 02 26 ++852 27 99 20 72 Email:kptsang@hkrps.org.hk Web:www.hkrps.org.hk
I t a l y (m i l a n) イタリア	TEL:++392 670 708 25 FAX:++392 670 708 24 Email:rpitalia@sgol.it
J a p a n (日本)	
S p a i n (スペイン)	TEL/FAX:++34 1 521 60 84 Email:luis.palacios@abaforum.es

Sweden (スウェーデン)	Email:leifp@admin.kth.se
Switzerland (スイス)	Email:cfasser@e-link.ch Web:www.rpver.ch
USA (アメリカ)	TEL:++1 410 785 1414 FAX:++1 410 771 94 70 Email:102722.2632@CompuServe.com Web:http://www.blindness.org/
UK (イギリス)	TEL:++44 1 280 860 363 FAX:++44 1 280 860 515 Email:brps@brps.demon.co.uk Web:http://www.brps.demon.co.uk

その他、アルゼンチン、オーストリア、ベルギー、中国、コスタリカ、キプロス、エジプト、エルサルバドル、エストニア、フィンランド、ギリシャ、ハンガリー、インド、インドネシア、アイルランド、リトアニア、マレーシア、マルタ、メキシコ、オランダ、ノルウェイ、パキスタン、パナマ、ペルー、フィリピン、ポーランド、ルーマニア、ドミニカ、サウジアラビア、南アフリカ、以上44ヶ国が会員国です。次号で世界大会の歴代開催国を紹介します。掲載して欲しい世界の情報の要望を寄せて下さい。

●連載 よもやま情報 (5)

◇新たな相談機関オープン

1. かながわ権利養護相談センター (愛称: アシスト)

◎かながわ権利擁護相談センターは・・・

意思能力や判断力が十分でないために、あるいは判断が出来ても身体障害等のために自らの権利を行使することができない障害者や高齢者の方が、安心して日常生活を送れるようにすることを目的として開設いたしました。当相談センターでは、市町村等の相談機関で解決困難となった権利擁護に関わる問題について、相談をお受けしております。なお、お受けした相談は、弁護士等の専門相談員または専門家等によって構成される相談処理委員会が対応し、解決を図ります。

◎対象者は・・・

県内にお住まいの障害のある方（身体障害者・知的障害者・精神障害者）
高齢者（65歳以上で身体上または精神上の障害により日常生活を送るのに支障がある方）

◎ご相談下さい。こんなこと・・・

知的障害のある弟の預金を兄弟の一人が使いこんでいる。親が亡くなった後、兄弟から「あなたは障害者で、これまで親に迷惑をかけたので遺産相続ができない」といわれた。兄と同居している痴呆の母がどうやら虐待を受けているようだが・・・。

◎相談料は・・・

無料です。

◎当相談センターのご利用方法は直接相談は受けておりませんので、

◇まず、「市町村等の相談窓口」へご相談下さい。

◇「市町村等の相談窓口」で解決が難しい相談事案が当相談センターに送付されます。

◇当相談センターでは予約相談日を決定し、「市町村等の相談窓口」を経由して、相談者へ連絡いたします。

◇相談者は予約相談日に当相談センターへ来所（または電話）していただき、専門相談を受けていただきます。

◇専門相談の段階で解決の難しい事案については、相談処理委員会で解決策を検討します。

◎その他の主な事業

・普及啓発事業

障害者や高齢者の権利擁護について理解を深めるために、パンフレットの発行等、広報による普及啓発を行います。

・調査研究事業

障害者や高齢者の権利擁護に関する関連情報の収集に務め、今後の事業推進に反映するための調査研究を行います。

・市町村への支援事業

市町村財産保全管理センターで行う財産保全サービスについて、世話人の研修などの支援を行います。

◎開館日は・・・

月曜日～金曜日の午前9時～午後5時まで

※土曜・日曜・祝日・年末・年始はお休みです。

社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会

かながわ権利擁護相談センター

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2

(かながわ県民センター内 14階)

TEL 045-312-1121 (代)

FAX 045-322-3559

2. 横浜生活安心センター

所在地：横浜市中区桜木町1-1 桜木町駅前健康福祉総合センター9階

電話：045-201-2009

FAX：045-201-9116

障害者や高齢者が自分の判断能力や身体能力が低下したときにも安心して日常生活が送れるように新しく以下のようなサービスを始めました。

◎幅広い相談業務

本人からだけでなく家族民政委員などの地域からの相談も受け付けます。その結果必要な機関を紹介したり行政職員などと関係したりして本人の生活を見守り、その権利擁護を図ります。

－こんなことでお困りではないですか？－

◇日常的な金銭の管理に不安がある。

◇自分が知らないうちに預貯金が引き出されたり年金が勝手に使われている。

◇親がなくなった後の財産管理について事前に決めておきたい。

◇自分では不必要だと思うものを購入するように進められて困っている。

◇職場での労働条件や給与について悩みがある。

◇一人暮らしの生活に不安がある。

◇その他何でも御気軽にご相談ください。相談は無料です。

受付は、月～金曜日・第3日曜日午前9時から午後5時

弁護士・社会福祉士による専門相談は月・木曜日に予約制で行ないます。

◎財産保全サービス

預貯金証書などを当センターが契約した銀行の貸し金庫でお預かりします。宝石・書画などはお預かりできません。

◎定期訪問・金銭管理サービス

- ◇センター職員による定期的訪問
- ◇預貯金の出納代行
- ◇公共料金生活諸費等の支払い代行
- ◇衣類・食料品の購入の手配，日常生活に関する事務の代行
- ◇福祉サービスや年金の受給等に関する手続きの代行
- ◇福祉サービス等の提供状況の確認
- ・申し込み方法：利用者の事情をお伺いしながら面談や調査などを経たのち、委任契約書を作成します。
- ・利用料金：財産保全サービス・・・年間3000円（月250円）
定期訪問、金銭管理サービス・・・月5000円
低所得の方には減免があります。
- ・サービス提供プランの作成：
サービスの期間は契約時に決めますが、希望により
意志能力喪失後もサービスの継続することができます。

◎市民意識の啓発

これからの社会状況の中でだれもが安心して生活できるよう虐待などの権利侵害の予防に向けた市民意識の啓発や研修・研究などを進めてまいります。

3. 川崎市在宅障害者福祉公社

本部事務所：川崎市川崎区砂子1-2-4 砂子第1生命ビル
044-254-1144
月～金曜日 午前8時30分～午後5時

◎福祉相談・サービス提供

福祉に関する相談・情報提供を行ないます。またヘルパーの派遣なども行ないます。弁護士・医師などによる専門相談なども行なっています。
電話相談は044-246-4700または044-977-2000

◎財産保全サービス

公社が利用者によって大切な財産当を金融期間の貸し金庫に保管します。

- ・利用できる方： 次の全ての条件を満たす方
 - ◇川崎市在住の方
 - ◇おおむね65歳以上または障害者の方
 - ◇本人の意志により申し込みをされる方

- ・ 利用料金：年 3 0 0 0 円
- ・ サービスを契約された方が判断能力が失われた後もサービスの継続をする特約を結ぶことができます。

◎財産管理サービス

- ◇ 預貯金の出し入れの代行
- ◇ 公共料金の支払いなどの代行
- ◇ 入院退院時の金銭の支払いなどの代行
- ◇ 住居の維持補修費などの重要な金銭の支払いの代行
- ・ 利用できる方：次の全ての条件を満たす方
 - ◇ 川崎市に在住の方
 - ◇ 概ね 6 5 歳以上または障害者の方
 - ◇ 寝たきり、歩行困難などによりご自分で財産管理をすることが困難な方
 - ◇ 本人の意志により申し込みをされる方
- ・ 利用料金：月 1 0 0 0 円、振込手数料など実費が生じたときはそれも負担となります。
- ・ サービスを契約された方が判断能力が失われた後もサービスの継続をする特約を結ぶことができます。

◎調査研究

高齢者や障害者の在宅生活をよりよくするために福祉や保健医療に関する課題について調査研究を行ない、新たなサービスの開発や提供を図るなど、地域福祉や在宅福祉の向上を目指します。

◎福祉啓発

ともに支え合う社会を目指して各種の普及啓発事業を進めます。

◎人材育成

福祉にたずさわる人材の育成をします。

●障害者の人権 1 1 0 番

横浜弁護士会では、1 2 月 9 日（水）の障害者の日にちなみ、電話・FAXによる障害者の人権に関する無料法律相談を、昨年に引き続き実施致します。障害者及び家族が抱える様々な問題について法的な側面から弁護士が相談に応じてくれます。

日時：平成10年12月9日（水）午前10時～午後4時

電話：045-633-3591

FAX：045-633-3595

FAXにての相談は連絡先を明記して、時間内にお願いします。

（横浜弁護士会からの情報）

●開発が進む音声誘導システム

11月のゆめ国体・障害者スポーツ大会の会場（横浜国際陸上競技場）入り口の交差点でも音声誘導システムのテストが実施されていました。横浜ラポールに施設されている事は知られていますが、今後開発、設置が広がれば、視覚障害者の外出が苦にならない日も訪れる??
あるメーカーから寄せられたシステムの概要を紹介します。

『音声誘導システム（アイメートシステム）』

大勢の視覚障害者に対して「社会参加」を促すために、新しい誘導システムが導入されています。視覚障害者のための信号機の操作や、道路を歩いている時の位置の確認、及び施設の入口の確認ができるように、画期的な誘導システムが開発されました。これらの誘導機器を作動させるカード型の小型発信機（エコカード）は平成9年4月1日に厚生省で日常生活用具の給付対象品となりました。

◎盲人用信号機を作動させるボタンスイッチの代わりに、このエコカードのスイッチを入れると信号機が作動します。

◎施設の入口の確認、場所の確認を知らせる（エコーチャイム）

施設のレイアウトを知らせる（エコーボックス）

これらは、家をでる時にエコーカードのスイッチをONにして携帯し、誘導機器の近くを通過すると自動的に機器の中の音声で作動します。

◎現在設置されている触知案内板も視覚障害者には位置が確認できないので、実際は有効に使用されていないのが実状です。そこで、この触知板にも位置確認用受信機が内蔵されることによってエコーカードを持っている人が近づくと「ここに触知板があります」と知らせてもらえます。以上のような音声誘導システムが東京都港区、清瀬市、東久留米市の庁舎や、駅入口、バスターミナル、公衆トイレ等に導入されています。この全国共通のエコーカードを使用した音声誘導システムは、今後各地域に広がりを見せていくことが期待できます。

（情報提供：アルプス電気（株））

●視覚障害者の傷害保険

中村善暁

網膜色素変性症に限らず、視覚障害者には生命保険、傷害保険の窓口は閉ざされていました。ソニー生命が一時、特約付き加入を認めていましたが、なぜか突然門戸を閉ざしてしまいました。そんな時、視覚障害者の為の総合傷害保険ができたとの情報がありましたので紹介します。他の損害保険会社でも行っているかも知れません。情報があればお知らせ下さい。ガン保険等限定された保険は、色変患者でも各保険会社が加入を認めています。

(視覚障害者総合プラン)

- ・地震等天災によるケガ、〇ー１５７等の法定・指定伝染病も満額補償。
- ・就業中、プライベートにかかわらず２４時間補償。
- ・入院、通院１日目から保険金が支払われます。
- ・保険金の請求が簡単（１０万円までは病院の診断書不要）
- ・加入の際、医師の診断書不要（但し、色変である事は申告して下さい）
- ・年齢による保険料の差は有りません。
- ・賠償責任事故（本人及び家族全員を補償）
- ・掛け捨て保険です。

例えば

保険料（月額）	１０００円	２０００円
死亡・後遺傷害	１９０万円	３５０万円
入院日額	２５００円	５１００円
通院日額	１５００円	３４００円
賠償責任	３０００万円	

※保険料増額は要求に応じてできます。

※視覚障害の程度に関係なく加入できます。

※但し、下記支店のみでの扱いです。

問合せ先：大東京火災海上保険（株）

平塚支店 担当：川村、新井様

電話：０４６３－３４－７９３１

FAX：０４６３－３４－７９３６

— 投 稿 —

●理療科(盲学校)奮戦記(3)

小田原市：佐々木裕二

学校生活ももう8ヶ月、速いものである。先生の性格もほぼ分かり授業にも慣れ、テストにも慣れ、丁度緊張のぬける危ない時期である。この原稿を書くために前の会報を読み返して、「気を引き締めてっ！」と今感じた次第です。感謝。

～秋の大運動会～

9月下旬運動会が行われた。練習のため1週間前から授業時間が短縮され午前中のみとなり、午後は競技や応援の練習となった。これもまた初めての経験である、弱視や全盲の競技。と言ってもそんなに特殊なわけではなく、ちょっとした工夫で競技ができるようにしているのである。一部を紹介すると、全盲者の50メートル走ではゴールでベルと電子音を出しその「リンリン・・・」、「ピピピ・・・」に向かって全力疾走する。中にはものすごい勢いで斜めに走ってしまう子や考えながら？走る子もいてなかなか楽しい。円周リレーというのもある、真ん中に立てた棒から10m位の綱をだしその綱につかまって丸く走る。これは圧巻で、みんな綱があるので思いっきり走る、そうすると一周のちょっと手前で止める人がいるのだが止まらない、ぶつかったり倒れそうになりながらおじさん達もエキサイトした。私が出場したのはタイヤ取りと100m走。タイヤ取りとはその名のごとく中央に置かれたタイヤを弱視者と全盲者がペアになっていっせいに走って取りに行くという格闘技、腕力には自信があったものの要領が悪く2回戦とも取ることができず惨敗、その上泥だらけ。100mは自信がなかったものの巨体を揺すって走ってなぜか1位。最後の種目は生徒、教員によるリレー。思いっきり走る先生、顔を引きつらせて走る人、すまして走る人、恥ずかしそうに走る人。走るときも個性そのまま、走る人も応援する人も最高に盛り上がった。私の4才になる息子も、近くにきて「パパ頑張れ、頑張れ。」と黄色い声援をあげてくれた。息子に応援されるとは思ってもみなかったが生意気にも成長していることにうれしかった一日だった。

●獅子座流星群と星の世界

川崎市：岩佐浩司

今日は！前回この会報(4号)に投稿させて頂いてから早いもので1年と数ヶ月が過ぎてしまいました。あれからだいぶ白内障がひどくなりましたが手術は諦めています。医者から白内障はそれ程ひどくなく見づらくなったのはあくまで網膜の変性によるもので、手術しても後悔

— するからやめた方がいいと言われているのと、一番の理由はR Pで白内障の手術された方はたくさんいますが何年たっても手術して良かったという人が非常に少ないからです。落ち込んでいる頃に33年ぶりに獅子座流星群がやってくると知っても私は天文ファンですが、見たいとは思いませんでした。そんな11月17日の夜いつものようにテレビでニュース番組を見ていると獅子座流星群は非常に明るく、-4等で金星よりも明るくなると聞き、そんなに明るいのなら私の目でも見えるのではないかと思いました。ちなみに私の目は2級で視力は0.2~0.3です。私は深夜、多摩川の方に向かって歩き出し夜空が良く見える場所を捜し求めました。有難いことに私は明かりがあれば夜道でも何とか歩く事が出来ます。どんどん下流の方に向かって、川崎の多摩川の六郷橋の土手の所で見る事にしました。時刻は2時10分過ぎだったと思います。誰もいないと思われましたが、1人、2人といて、そのうちすぐ「見えた！見えた！」と言う声が上がりました。最初は方向がわからず隣にいた青年にお願いして、白杖を使って見える方向を教えてもらいましたが、なかなか見つける事が出来ません。その青年は30分位の間に5回も見ることができ、そのうちの一つは、赤い色で花火のように明るかったそうです。人も10人前後に増えてきましたが、流星群のピークの時間帯が大分ずれてしまったせいか見えなくなってきたようです。私も4時20分頃まで粘りましたが、諦めて帰りました。後でテレビで流星群を見ましたが、私でも見えそうなものは、ほんの3つ位しかありませんでした。それも視野が極端に狭いので見る方向が正確でないと見れなかったかも知れません。やはりR Pの患者にとって動くものは見づらいというのが実感でした。今回の天体ショーは天体ファンだけでなく、一般の方にも非常に興味が高かったようです。そこで”今”の星の世界の話をしてみたいと思います。

— 皆さんは土星に環があるのを知っていると思います。同じ様に木星、天王星、海王星にも環があります。もちろん地球からは見えません。無人探査機・ボイジャー（2号）によって発見されました。その他にも、木星の衛星・イオの活火山や海王星の衛星・トリトンにも火山噴火がある事が発見されています。太陽系（太陽・惑星・その他衛星・小惑星・彗星等）以外で一番近い星（恒星）はどの位の距離にあるのでしょうか？ケンタウルス座の α 星で4.29光年だそうです。それでは一番遠い星は？130億光年（つまり光が130億年かけてようやく届く距離です）ですが、もしかしたらこれより遠い星か天体があるかも知れません。

（私も最近目が悪く天文の本をよく読んでいないので）私が夢中になって星空を見ていた頃はアメリカのパロマ山の口径5mの望遠鏡が世界一

でしたが、今は8 m、10 m級の地上望遠鏡が作られています。それらは最新の装置が備えられているにも拘わらず実際に発表される結果を見る限り、ハッブル宇宙望遠鏡（口径2.4 m）がとらえた画像の方が群を抜いているようです。アメリカは大口径の望遠鏡に功績のあった天文学者の名前をつけると聞いていますので、ハッブルという名前も天文学者のハズです（多分）。例えばパロマ山の5 m望遠鏡にはヘール望遠鏡という名前がついています。ハッブル宇宙望遠鏡はそれまで知られていた宇宙の常識を次々と書き換えてきていますが、一番の理由は大気の影響を全く受けていないからです。少しでも大気の影響を避けるために世界中の有名な天文台は全て標高数千mの山頂にあります。ハワイのマウナケア山等が有名で標高4 kmで富士山よりも高い所に、イギリス、カナダ、アメリカなどの天文台があります。ここに各国の天文台が集まっているのは、抜群の観測条件だからです。

今回の獅子座流星群は残念な結果に終わってしまいましたが、次の天体ショー（いつになるかわかりませんが）はぜひ成功させたいと思っています。

●ゆめ国体応援記

横浜市：市川恵利

11月7日（土）J R P S 応援団は、ゆめ国体陸上競技会場である『横浜国際総合競技場』にのりこんだ。天気予報では雨ということだったが、私達の気合からか、何とか曇り空を保っていた。会場に来ている人達の中には毛布にくるまっている人もいるほどの寒い中、中村支部長率いるJ R P S 応援団は元気よく男子100 m走に出場する、和歌山県の山本浩さんの出番を今か今かと待っていた。山本さんの出場を確認する唯一の方法は会場内両サイドにある電光掲示板と大きなスクリーン。それを頼りに選手名が掲示板に表示されるたび「山本って名前ある？ある？」と盛り上がったが、名前がないことが分かると「あ～まだだよー」とガッカリしてベンチに座り込んだ。そんなことを何度も繰り返しながら1時間が経った頃、待ちに待った「和歌山県 山本〇〇」という名前が掲示板に表示された。ところが、下の名前が定かでなかった私達は「この山本でいいのかな～？」と首をかしげていた。しかし「まあ、いいか。たぶんこれでいいんだよ。」と曖昧な結論に達し、会場内に響き渡る大きな声で「やまもとー!!」を連呼した。そしてさんざん叫んだ後、スクリーンに映し出された山本選手の顔を見て「あれ、誰？あいつあんな格好良かったっけ？」と中村支部長の一言。私達が応援していた山本さんは、まるで別の山本さんだったのだ。そしてまた一同ベンチに座り込んだ。その後、ようやく「男子100 m和歌山県 山本浩」と表

示された。「あっ、これだよ、これ。やっとでてきたよ～」と、本物の山本さんの登場に大いに盛り上がり、持参した『J R P Sの星がんばれ山本』と書いた横断幕を掲げ、今度こそ！と会場内に響き渡る大きな声で応援を始めた。その様子に静かに見ていた周囲の人がクスクス笑っているのを私は目撃していたが、そんな周りの目も気にしていないのか、ただ見えなかったのか、J R P S 応援団は夢中で「山本ー！山本ー！」と叫びまくった。その結果、私達は山本さんが表彰台にのぼる姿を見ることが出来た。応援に気付いてくれた山本さんは会場を後にする際、私達に向かって両手を挙げ、何度も大きく飛び上がってくれた。とても楽しそうで嬉しそうだった。そして、彼の姿は本当に眩しいくらいステキだった。そんな訳でJ R P S 応援団は満足して会場を去っていった。お疲れ様でした、山本さん。そしておめでとうございます。



- part 1 或る雨の日の出来事 -

1年半のライトホームでの生活を終えたウッチャンは、自分の勝手なわがままを言って家族の反対を押し切り、厚木で一人暮らしを始めた。その頃のウッチャンはライトホームへ週に三回、盲人ワープロの指導を受けるために通っていた。そして冬の寒い或る日、ウッチャンは白杖を頼りに歩く身の辛さと厳しさを体験することになるのだ。その日は憂うつな気分ですらライトホームへ出かける準備をしていた。それは、今日の午後からどしゃ降りの雨になるという天気予報が気にかかっていたからである。午前中に訓練を終え、昼食をとったウッチャンは朝の憂うつな気分はどこへやら、ライトホームの仲間と受けないギャグを連発しながら話し込んでいた。そこへ職員が現れ、「内田さん、雨がひどくなったけど、帰りだいしょうぶなの。」すると仲間が「風も強そうだよ、ウッチャンだいしょうぶ。」と、二人に尋ねられた。ウッチャンは、「ただ雨が降っているだけだろ。槍が降っているならまだしも、この程度の雨ならだいしょうぶだよ。」と言り返したものの、心の中では動揺していた。あわてたウッチャンは挨拶もそこそこにライトホームをあとにした。バスを降りると横殴りの雨。傘をさしているというのに、もう完全にびしょぬれ状態。激しい雨音で後ろから来る車に気付かず、クラクションを鳴らされ、右によけたり左によけたり、白杖でかすかに感じる水溜まりをよけながら、アパートへ急いだ。しばらく歩いていると、緩やかな登り坂を足元に感じた。「しまった。曲がるの忘れて、通り過ぎたかもしれない。」あわててもどり始めたウッチャンだったが、自分を横切る車と水溜まりが気になって、冷静さを失ってしまったのである。そして道路ではなく、どこかに入り込んだらしく、同じ所をウロウロしている自分に気が付いた。落ち着かなければいけないと、雨の中、タバコに火を付けようとしたが、激しい雨のために火もつけられず、「ここはどこ。私はだあれ。」状態に陥ってしまった。車の音でも聞こえれば何とか抜け出せるかもしれないんだが、と思いながらその場でじっとしていた。待つこと数分、微かに聞こえる車の音。その音に向かって歩き始めた。どこかの駐車場か誰かの家の庭かよくわからないが、ずいぶん広い所に入り込んで、ウロウロしていたらしい。とにかく自分の位置がわかる所まで行かなければ。その時はもう傘などさしてはいなかった。歩くことで精一杯だったのである。やっとの思いでアパートにたどりついたウッチャンは急いで洋服を着替え、風呂をわかし、熱いコーヒーを入れた。寒さと疲れで何も考えることもできず、ただ風呂がわくのを待ったのである。風呂がわいて湯船につかりながら「目が見えないのは辛いことだ。

なんでこんな目にあわなきゃいけないんだ。」等と考えることもなく、頭の中で、腹減ったなあ。今日の晩飯は何にするか。こんな時は暖かいものでも食わなきゃいけないなあ。冷蔵庫の中に何が入っていたっけ。等と考えていたのである。風呂から上がったウッチャンは、冷蔵庫の中をまさぐり、うどんをみつけ、野菜といっしょに煮込んで煮込みうどんでもいいかと思いながら調理を始めた。うどんをすすりながらテレビを見ていると、ドラマの中で誰かが泣いているシーンがでてきた。思わず目をテレビの方に向けて「泣いているひまがあったら風呂にはいれ。風邪ひいちゃうぞ。」と、思わず独り言を言ってしまったのである。焼酎のお湯割を飲みながら、「どうして迷ってしまったのか。何故もっと早く迷ってしまったことに気付かなかったのか。今日と同じ目に会わないためにはどうしたらよいか。」と考えこんでいた。そして、自分の歩行訓練を担当してくれた職員の一言を思い出した。雨の日に今日と同じ目に二度と会わないための方法の一つとして、そのアドバイスを実行に移すことにしたのである。それから数ヶ月後のある日、朝から激しい雨。しかし、ウッチャンはどことなく余裕をもって、ライトホームへ行く準備をしていた。外に出て傘をさすと空を見上げ「なめんなよ。」と言つぶやき、ライトホームへ向かったのである。ライトホームに着くと職員に声をかけられた。「内田さん、おはよう。なかなか派手な長靴だね。」「長靴？これは長靴じゃないよ。レインブーツ。」と言い返した。職員はあきれながら「レインブーツ？どこが。どう見たって派手な長靴だ。」と言いながら通りすぎて行った。そしていつものようにさっさと帰ればいいのに、ライトホームの仲間を前に先輩面をして説教じみた話をしていた時、ウッチャンの歩行訓練を担当した職員がやって来て「内田はんなかなかいい長靴やなー。どや、わしの言うとおりの日は長靴が一番やろ。かっこなんか気にしたらあかん。安全を第一に考え、雨の日は長靴。それが一番や。な、内田はん。」ウッチャンは、ボケることも、つつこむこともできず、「はい。」としか答えられなかった。それを聞いていた他の職員が、「あれ。内田さん、今日はずいぶん素直だねー。」と言った。「まあね。」としか答えられない自分が妙に悔しかった。とにかく、雨の日は長靴が一番や。

● ★ ★ ★ ご結婚おめでとう ★ ★ ★

(列席顛末記) 京都市：園 順一

平成10年10月10日 このデジタルな(101010=2A このことはパソコンじゃなくてコンピュータを勉強した人にのみ理解できる・よけ

いなことだ〜!)めでたい日に我らが仲間・阿部君と法子さん(旧・腰前田さん)の結婚披露宴が横浜駅から徒歩5分の豪華なホテルで挙行された。案内によると徒歩5分だから20分前に駅に着けば大丈夫だろうと時刻表で確認しておいて着いたのに結局10分遅れてしまった。もちろん道行く人何人かに聞いたのだが、新しいホテルなのかほとんどの人が知らなかった。ホテルをやっと見つけて今度がまた大変、エレベータに乗ったのはよいが、フロアボタンの数字が見えない!(どうしよう。エイッと)目星をつけて押したら行き過ぎて、今度乗ったのには人が乗っておられ押して貰いやっとたどり着いた。(あぁしんど)お二人が愛の口づけをする直前にチャペルに到着。退場時に声をかけることもできた「おめでとう!!!」

前置きが長くなったがこれからが披露宴、ほほえましくまた感激の連続であった。最近の流れなのか仲人はたてず、ご本人達が互いに相手を紹介しあうのである。「手をつないでいるときが一番幸せを感じます」。

中村さん(支部長)のご祝辞、乾杯と続き、それでは皆さん食事を取りながらご歓談をとの司会者の案内で一口ほおばったとたんに

「園さんご祝辞を」と司会者の声、モグモクと言いながらマイクの所へ・・・(中略・・・)

桜井さん(埼玉)、山崎さん(東京)がお二人の出逢い等を披露、そして宴もいよいよ終わりに近づきクライマックスへ

法子さんのご両親へのお礼・・・そらきたぞ。続いて阿部君の挨拶が始まった。「私たち二人は網膜色素変性症という難病にかかっており・・・」明るく強い宣誓でもあった。だが私の目からは涙が止まらなくなってしまった。(年毎に涙腺がゆるむのか)自分では既にこの病気とは向き合うのではなく自分の中に取り込みそして生活している。だから悩むのではなく対応策を色々と考え実行もしている。でも現実を思い言葉として飛び込んでくるとなぜか涙が出てしまう。「蔵」の観劇の時もそうであった。今回の涙は力強くこれから二人で楽しい生活を過ごそうとしていることへの喜び・感動・感激、そして現実が入り交じった複雑なものであったように思う。

やがてお二人の二世が誕生される事であろう。そして考えたくないことでもあるが、万が一に発症したとしても研究者の努力・情熱そして我々の活動によってその頃には治療法も必ずや確立され始めている。またその様にならなければJ R P Sの存在意義の多くが無くなってしまうのである。阿部君・法子さんが安心するためにもJ R P Sはその目的を達成しなければならないのである。みんなで力を合わせ目標に向かって一步一步近づいていこうではないか!

—お願い—

使用済みのテレホンカードがありましたら、ＪＲＰＳ神奈川支部事務局のほうまで持ってきて下さいますようお願いします。

ＪＲＰＳ神奈川支部会報の点字版、テープ版を希望される方は神奈川支部事務局までご連絡下さい。

神奈川支部事務局：中村善暁

〒２５３ 神奈川県茅ヶ崎市萩園１４４５－６

ＴＥＬ. ０４ *

ＦＡＸ. ０４ *

—◇編集後記◇—

いきなり寒さが厳しくなってきましたね。みなさん風邪など引いてないでしょうか？今年は例年になく異常気象、そして景気停滞などあまり良くない話題の多い年でしたが、神奈川では横浜高校春夏連覇、横浜ベイスターズ日本一と良い話題もありましたね。私にとっても今年は生涯忘れられない素晴らしい年となりました。この調子で来年も頑張っていきたいです。編集部ではみなさんからの投稿をお待ちしています。何か気付いたこと、感じたこと、役立つ情報等ありましたらお便り下さい。

発行人：身体障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砧6-26-21

編集：J R P S 神奈川支部会報編集部
阿部直之

〒213 神奈川県川崎市高津区

TEL・FAX 04-*****

E-mail UE*****

定価 200円